

# 上海のMS業者が採用

## グッドマン「パッシブ換気口」

グッドマン(本社・札幌)が開発したパッシブ換気口「グッドマン」が、中国・上海の大手マンションデベロッパーに採用された。中国でも需要が高まっている省エネ性が評価を受け、中層住宅や別荘などの建築物件に導入されるといふ。同社は、省エネ化と高気密化が進

む上海の住宅事情にも対応できる製品として、海外での普及に期待を寄せている。

齋藤武夫社長は「彼らは昨年、上海で各社の換気部材を実証していたよ  
うで、当社もサンプルと  
上海から訪れた関係者と  
情報交換した



して製品を送っていた。その中で(自然の力を用いた)通風機能が認められた」と説明する。

「グッドマン」は、熱交換機など人工的な動力を用いない自然換気口。室外側フードは上下に開口し、温度差換気で室内上部への空気滞留を緩和する。対向の部屋に設置することで優れた通風効果を発揮するのが特長だ。

室内側ダンパー上部で内外の空気が混合し、コールドドラフトを抑えるほか、通年ダンパーの開口部を調整して自然換気を促す。国内では、マンションや公営住宅などで普及している。

8月上旬にデベロッパーの役員と、共同実験する上海の大学研究者らが同社を訪れ、日中の市場動向や今後の事業展望などについて話し合った。

一行はその後、道立北方建築総合研究所(北総研)に向かい、各研究設備に関心を示した。

経済成長が著しい中国では、電力不足に対応するため、省エネ技術が強く求められているほか、「上海は住宅の高気密化が進み、シックハウス対策などの健康志向も高まっているようだ」(齋藤社長)。環境ビジネス分野でも巨大なマーケットを抱える中国への出荷に、事業の広がりを感じている。